

# 香取 普及だより

No.94

URL <https://www.pref.chiba.lg.jp/ap-katori/index.html>

令和6年2月1日発行

香取農業事務所 改良普及課

〒287-0003

千葉県香取市佐原イ92-11

TEL:0478(52)9195

FAX:0478(55)1703



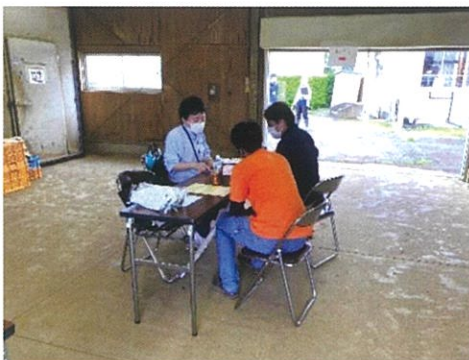
実演会の様子



新型さつまいも苗移植機の実演  
※身体への負担が少なく移植できます



押し車式薬剤噴霧器  
※ノズルを振らず畝間除草が可能



農業共済組合による収入保険個別相談

省力機械を活用した  
さつまいも産地強化に向けて  
令和5年度さつまいも機械実演会

さつまいもは、香取地域の主な野菜の一つで、管内の作付面積はおよそ500haです。

香取農業事務所では、香取地域のさつまいも農家の規模拡大推進のため、6月15日に農林総合研究所において、さつまいも機械実演会を開催しました。

当日は、省力化機械の有効性を実感してもらうため、メーカー

を参集し、新型のさつまいも苗移植機や押し車式薬剤噴霧器の他、近年現地でも普及し始めている生分解性マルチ等の実演を行いました。また、収入保険制度及びさつまいも生産拡大緊急プロジェクト事業の相談ブースを設置し、参加者が個別に相談を行いました。

参加者の多くから、「実演した機械、生分解性マルチに関心がある」との意見があったほか、購入希望もありました。

香取農業事務所では、規模拡大に伴う労働力の増加を抑えるため省力化や作業時の身体への負担軽減についてアイデアを収集していきます。

### 水田転作における排水対策について

近年、水稻の生産調整に向けて水田を畑地に転換し、野菜等高収益品目の作付けに取り組み事例が増えています。しかし、水田転換畑は水はけが悪いことが多く、過湿を嫌う高収益品目の生産には排水対策が必要です。表面排水と地下排水を促進し、作物と作業者双方にとって好ましい環境を実現しましょう。

#### 1 明きよの施工

額縁明きよを施工し、ほ場表面の排水を促します。さらに、傾斜を考慮して畝間と明きよを接続し、水の逃げ道を作りましょう。明きよは風雨で崩れることもあるため、こまめに補修しましょう。



PTO式溝切機による明きよ施工

#### 2 耕盤破砕による地下排水の促進

客土畑は、客土に用いた山砂等が踏み固められ耕盤となることがあります。サブソイラーやカットブレーカー等で耕盤を破砕しましょう。復田に不適な工法もあるので、注意が必要です。



カットブレーカー mini による心土破砕

#### 3 有機物投入による土壌改良

堆肥やもみ殻等有機物の施用、緑肥の作付等で土壌改良に努めましょう。これらの積み重ねで土壌が膨軟化すれば、水持ちと水はけが両立され、気象条件に左右されにくくなります。

これらの対策を総合的に行うことで、排水性の改善が期待されます。ただし、もみ殻を過剰に投入する等、極端な処理は作物の生育に悪影響を及ぼします。数年かけて継続的に改善に取り組みましょう。

### 人・農地プランから地域計画へ

現在、農村地域では、高齢化や人口減少の問題を抱えており、今後、農業者の減少や、耕作放棄地が拡大し、農地が適切に利用されなくなる恐れがあります。そこで、農地の集約化を加速化するため、令和5年4月から人・農地プランが地域計画として法定化されました。

市町村、農業者、農業委員会、農地バンク、JA、土地改良区、農業事務所等が集まり、将来の在り方や、農地の効率的な利用、目標地図等について話し合いますので、奮って参加してください。※目標地図とは、農地一筆ごとに将来誰が耕作するのか定めた具体的な農地利用の姿を明確化した地図のことです。目標地図は農地の出し手、受け手の都合によって柔軟に調整できます。地域計画に関することは、市町村農政担当課や、香取農業事務所企画振興課までお問合せください。

### 農業経営収入保険の新規加入者には保険料が補助されます！

#### ■農業経営収入保険の概要

収入保険は自然災害や、経営環境の悪化等、様々なリスクによる収入の減少を補償します。加入対象者は青色申告している農業者です。1年分の青色申告実績があれば加入できます。

新規の加入申し込み期間は、個人の方は12月末まで、法人の方は事業年度開始の前月末までです。保険料の試算等はお早めに御相談ください。

#### ■県による補助の紹介

千葉県では収入保険に新規加入する方に対し、期間限定で初年度の保険料の一部を補助しています。

#### ■お問い合わせ先

千葉県農業共済組合

043(245)7447

千葉県農業共済組合香取支所

0478(58)5611

※補助金については

県HP(団体指導課

をご覧ください。



### ナシ「火傷病」の発生について

農林水産省は、中国において「火傷病」が発生したことを受け、令和5年8月30日に火傷病菌の宿主植物（花粉等）の日本への輸入を停止しました。

#### ■火傷病とは

1880年にアメリカで発見された細菌病で、北米、西欧を中心に40カ国以上、近年では東欧、中近東まで広がっています。現在日本での発生はまだ確認されていません。また、日本なし、西洋なし、りんごのほか、かりん、びわ、さんざし、しゃりんばい等バラ科ナシ亜科の植物に広く感染します。感染した細菌は、葉や枝、幹へと広がり、表面に漏れ出て、風雨や虫等により、周囲に感染を広げます。特に花と新梢が感染しやすく、新梢先端が発病した際に「羊飼いの杖」症状を呈することが特徴です。

#### ■火傷病の危険性

万が一発生が確認された場合

は使用できる有効な薬剤及び手段がなく、感染速度も速いため園内、産地内に急速に広がり、感染した樹は数か月で枯れてしまいます。「火傷病」からナシを守るためには、感染源を園内に持ち込まない等の予防の徹底しがあります。

#### ■当面の対応

火傷病に罹患した樹の花粉は主要な感染源の一つです。輸入花粉や出所が不明な花粉の使用は絶対にやめましょう。また、以前に購入したナシ授粉用中国産輸入花粉の在庫がある方も絶対に使用しないでください。今後は、園内に授粉樹を確保する等、輸入花粉に代わる授粉作業の取組が必要となります。

花粉の採取・精選等の技術に関することは、香取農業事務所改良普及課へお問い合わせください。



「羊飼いの杖」症状（農研機構より）

### 飼料用米種子の自家採種栽培のポイント

令和6年産から令和8年産にかけて、「コシヒカリ」や「ふさがね」等の一般品種に関する飼料用米の支援水準が、段階的に引き下げられます。一方、多収品種の支援水準は従来どおりです。

#### ■多収品種の入手について

多収品種の種子は、（一社）日本草地畜産種子協会が増殖及び配付業務を担っており、作付前年の6月頃から配付希望を受け付けています。千葉県では、多収品種のほか、特認品種として「アキヒカリ」及び「初星」を定めています。

多収品種の種子は各市町経由で、特認品種の「アキヒカリ」はJ A等から入手できます。

#### ■自家採種栽培について

国の飼料用米の育成・登録品種は、生産者自らの種子増殖（自家採種）が可能です。

ただし、自家採種した種子は有償無償にかかわらず他者に譲渡

することは種苗法違反に該当します。取扱いには御注意ください。自家採種栽培では、病気に感染しておらず、十分な発芽力がある健全種子を確保する必要があります。そこで、次のことに留意して種子生産を行います。

- ①ばか苗病やシンガレセンチュウの発生ほ場及びその隣接ほ場で収穫した種子を利用しないこと。
- ②含水率25%以上やもみが濡れている状態では発芽率が低下しやすいため収穫は避けること。
- ③もみの損傷を抑えるため、コンバインのエンジン回転数を主食用品種より15%ほど低くすること。
- ④乾燥時は急激な乾燥を避け、通風または外気温+5℃でもみ水分を20%程度まで低下させてから、加熱乾燥でもみ水分14.5%に仕上げる。

この他、令和5年に千葉県が

発行した「水稻の採種栽培（第4版）」も参考にしてください。なお、固有の遺伝的性質を維持するため、種子は数年ごとに購入して種子更新を行います。

香取郡市  
指導農業士会活動

指導農業士とは

千葉県では、優れた農業経営を行い、農業青年の指導に熱意と能力を有し「農業後継者に対する指導的役割」を担う農業者を「指導農業士」として認証しています。

指導農業士会活動とは

認証後、地域活動として、「千葉県香取郡市指導農業士会」に入会し、研修会開催や農業実習の受入れ等を行います。

若手農業者との交流

地域の若手後継者が参加する経営体育成セミナーと合同研修を行い、指導農業士の農場や施設等の見学を行います。



研修会①  
カーネーションの暑熱対策



研修会②  
さつまいも調製施設の  
整理整頓

今年度の研修会では、カーネーション農場での夏季のハウス内の温度を下げる工夫、さつまいも選果施設での整理整頓を視察し、現地で話し合いながらアイデアを互いに吸収しました。視察後の座談会では、技術面のみでなく、セミナー生に親子で仕事をする上での悩みごと相談を行う等、若手農業者の取組を支援しました。

地域研修会の開催

他地域の指導農業士が経営する直売所内にあるカフェを視察し、来客者にくつろぎも提供する農場づくりを体感しました。

指導農業士は地域農業をけん引する役割を担いながら、より良い農業経営を目指し、新たな知識やアイデアを取り入れ実践しようと考えています。

さわらふアーマーズ  
クラブの活動紹介

さわらふアーマーズクラブ(SFC)は香取地域の若手農業者組織です。さつまいも等の露地野菜や水稲等、多様な品目に取り組む20〜40代の担い手が25人程度所属しており、会員数は近年増加傾向にあります。

SFCは若手農業者同士の研鑽の場となるとともに、横のつながりを作る場にもなっています。また、農業経営体育成セミナー生や指導農業士等の香取地域の農業者を始め、他の地域の若手農業者組織との交流も行っています。

SFCでは、毎月の定例会、会員紹介動画作成、ボランティア活動、視察研修会や懇親会等を開催するなど、年間を通して様々な活動を行っています。

今年度は、「コロナ禍におけるクラブの活動」というテーマで撮影班、情報収集班や資料作成班等の担当に分かれて準備し、第62回千葉県青年農業者会議で発表を行いました。

今後も地域の若手農業者が集う場として活躍が期待されます。



SFCの定例会の様子

「農業の知識を深めたい  
あなたを応援します！」  
農業経営体育成セミナー

香取農業事務所では、就農した青年農業者の栽培技術・経営手法の習得とネットワーク作りを目的に3年間のセミナーを開催しています(今年度31名)。

▼対象

概ね45歳迄の新規就農者

▼研修期間

令和6年5月から3年間

▼お問合せ・申込み先

香取農業事務所改良普及課  
0478(52)9195